

統合された地球温暖化観測を目指して

—温暖化影響観測の最前線—

主催 地球温暖化観測推進事務局／環境省・気象庁
後援 内閣府(予定)、文部科学省(予定)、
農林水産省(予定)、国土交通省(予定)、
(独)国立環境研究所地球環境研究センター(予定)

地球温暖化は、我々の時代の重大な地球規模の課題の一つです。温暖化による影響を把握するためには、各分野における長期にわたる観測データの蓄積、影響評価のための予測モデルの開発等が必須です。

今回のワークショップでは、公開講演会と分野間連携に関するワークショップを実施し、最新の観測結果や観測技術の現状をお伝えします。

12月11日(木)～12日(金)

KKRホテル東京
(千代田区大手町)

要参加登録
入場無料

1. 公開講演会

「地球温暖化の影響／
その実態と観測の最前線」

[11日 孔雀の間(200名)11階
13:00～16:50]

陽 捷行(北里大学)
鼎 信次郎(東京大学)
松浦 陽次郎
(森林総合研究所)

茅根 創(東京大学)
中山 博義(気象庁)
榎本 浩之(北見工業大学)

2. 分野間連携に関する ワークショップ

「陸域炭素循環観測と
生態系観測の連携」

[12日 丹頂の間(100名)11階
9:30～12:00]

日浦 勉(北海道大学)
平野 高司(北海道大学)
柴田 英昭(北海道大学)
伊藤 昭彦
(国立環境研究所)

三枝 信子
(国立環境研究所)

アクセス



地下鉄東西線「竹橋駅」3b出口直結
地下鉄千代田線「大手町駅」G2出口、
都営地下鉄「神保町駅」A9出口
よりそれぞれ徒歩5分

■お問合せ先

地球温暖化観測推進事務局／環境省・気象庁(OCCCO)
<http://occco.nies.go.jp/index.html>
TEL:029-850-2980 FAX:029-858-2645
E-mail: occco-ws08@nies.go.jp

■参加申し込み方法

下記ホームページからお申し込みください。
<http://occco.nies.go.jp/081211ws/index.html>
お申し込み多数の場合にはお断りさせて頂く場合
もございます。予めご了承ください。

プログラム

12月11日 公開講演会「地球温暖化の影響／その実態と観測の最前線」 孔雀の間（11階）

司会 藤谷 徳之助（地球温暖化観測推進事務局長）

13:00 -13:05 開催挨拶

13:05 -15:00 1. 基調講演

「わが国における温暖化影響の実態」

陽 捷行（北里大学・副学長）

2. 講演

①「温暖化時の水資源・水災害」

鼎 信次郎（東京大学生産技術研究所・准教授）

②「周極域の森林とはどのような森林か」

松浦 陽次郎（森林総合研究所立地環境研究領域土壌資源研究室・室長）

15:00 -15:15 休憩

15:15 -16:50 3. 講演

③「サンゴ礁 地球温暖化の指標生態系」

茅根 創（東京大学大学院理学系研究科・教授）

④「植物季節現象に見られる長期変化」

中山 博義（気象庁観測部計画課情報管理室・室長）

⑤「地球温暖化と海水変動」

榎本 浩之（北見工業大学工学部社会環境工学科・教授）

12月12日 分野間連携に関するワークショップ 「陸域炭素循環観測と生態系観測の連携」 丹頂の間（11階）

9:30 - 9:40 趣旨説明（事務局）

9:40 -12:00 1. 講演

①「日本長期生態学研究ネットワーク（JaLTER）の可能性」

日浦 勉（北海道大学北方生物圏フィールド科学センター・教授）

②「タワー観測ネットワーク（JapanFlux）の現状」

平野 高司（北海道大学大学院農学研究院・教授）

③「陸域生態系研究と炭素循環観測との有機的連携に向けて

—JaLTER と JapanFlux の連携と国際ネットワーク—

柴田 英昭（北海道大学北方生物圏フィールド科学センター・准教授）

④「陸域の温室効果ガス交換モデルと観測連携」

伊藤 昭彦（国立環境研究所地球環境研究センター温暖化リスク評価研究室・研究員）

⑤「将来への展望」（総合討論を含む）

三枝 信子（国立環境研究所地球環境研究センター陸域モニタリング推進室・室長）